

2026年3月期 中間期

決算説明資料



証券コード:6797

名古屋電機工業株式会社

2025年11月

(C) 2025 NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

理想をかなえる、にひたむき。

Nagoya
NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.

目次

1. 事業概要
2. 2026年3月期 中間期 実績
3. 2026年3月期 通期 業績予想
4. 中期経営計画 進捗状況
5. APPENDIX

1. 事業概要

会社概要

商号
名古屋電機工業株式会社

本社所在地
愛知県あま市篠田面徳29-1

代表取締役社長
服部 高明

設立
1958年5月

拠点
札幌、仙台、東京、新潟、名古屋、大阪、広島、高松、
福岡、鹿児島、インド
美和工場(愛知県あま市)、七宝工場(同)

子会社
株式会社インフォメックス松本(長野県安曇野市)

関連会社
Zero-Sum ITS Solutions India Private Ltd. (インド)
日本セック株式会社

従業員数(連結)
425名(2025年3月31日時点)



事業概要

事業内容 道路情報板を中心とする各種情報提供システムの製造及び販売

- エンドユーザーの多くは、道路管理者(国土交通省、各高速道路会社、地方公共団体など)であり、公共事業が中心
- 企画から設計、生産、製造、設置、メンテナンスまでワンストップで提供
- 情報提供システムの製造・販売による収益に加え、設置・メンテナンス等のサービス提供による収益によって成り立つ
- 主力製品である道路情報板に加え、車載・仮設の標識装置を含む各種情報提供システムを網羅的にラインアップする国内唯一の専門メーカー



2. 2026年3月期 中間期 実績

2026年3月期 中間期 実績（連結）

- 売上:受注残高の進捗により、前年同期並みに推移。
- 利益:工期延期に伴う原価見積もりの増加による影響から、営業利益、経常利益ならびに親会社株主に帰属する中間純利益は減少。
- 固定資産(支社・支店)売却により、特別利益 3.14億円の増加。

(単位:億円)

	2025年3月期 中間期実績	2026年3月期 中間期実績	増減率 対前期
売上高	56.27	56.16	△0.2%
営業利益	3.43	0.01	△99.6%
経常利益	3.49	0.17	△95.1%
親会社株主に帰属する中間純利益	2.24	2.21	△1.8%
1株当たり中間純利益	19.20円	18.83円	—

2025年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

3. 2026年3月期 通期 業績予想

2026年3月期 通期 業績予想（連結）

- 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無
- 売上:上期の受注が好調で、高水準の受注残を確保できたことにより、増収を予想
- 利益:人材投資によるコスト増加に加え、受注残案件の収益予想に基づき、減益を予想

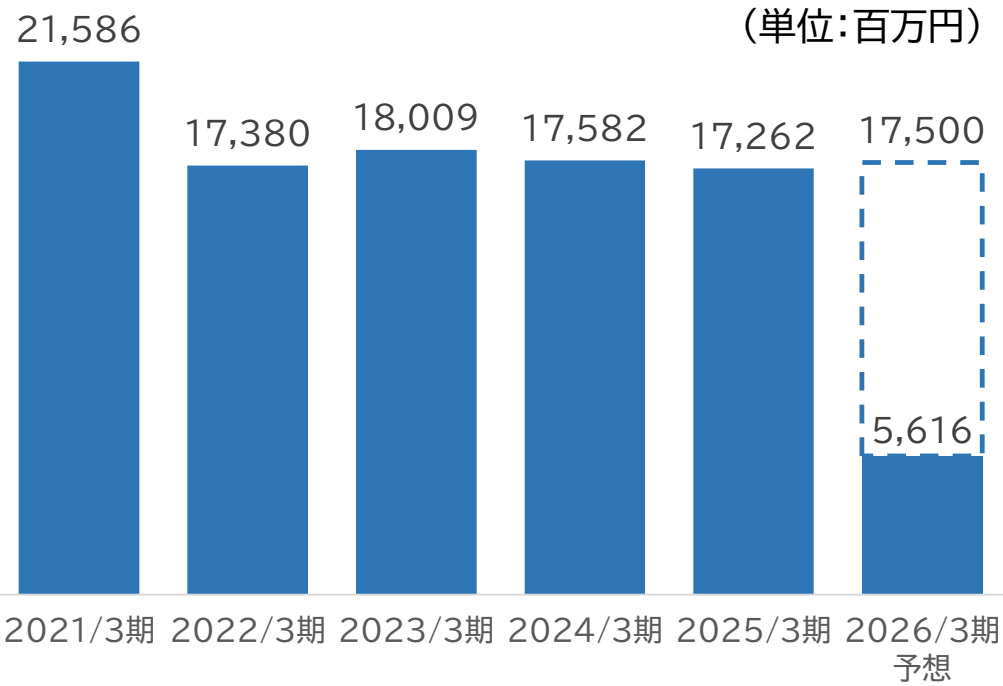
(単位:億円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減率 対前期
売上高	172.62	175.00	+1.4%
営業利益	27.52	22.50	△18.2%
経常利益	27.82	23.20	△16.6%
親会社株主帰属する当期純利益	22.06	17.40	△21.1%
1株当たり当期純利益	188.18円	148.39円	—
1株当たり配当金	42.5円	45円	—

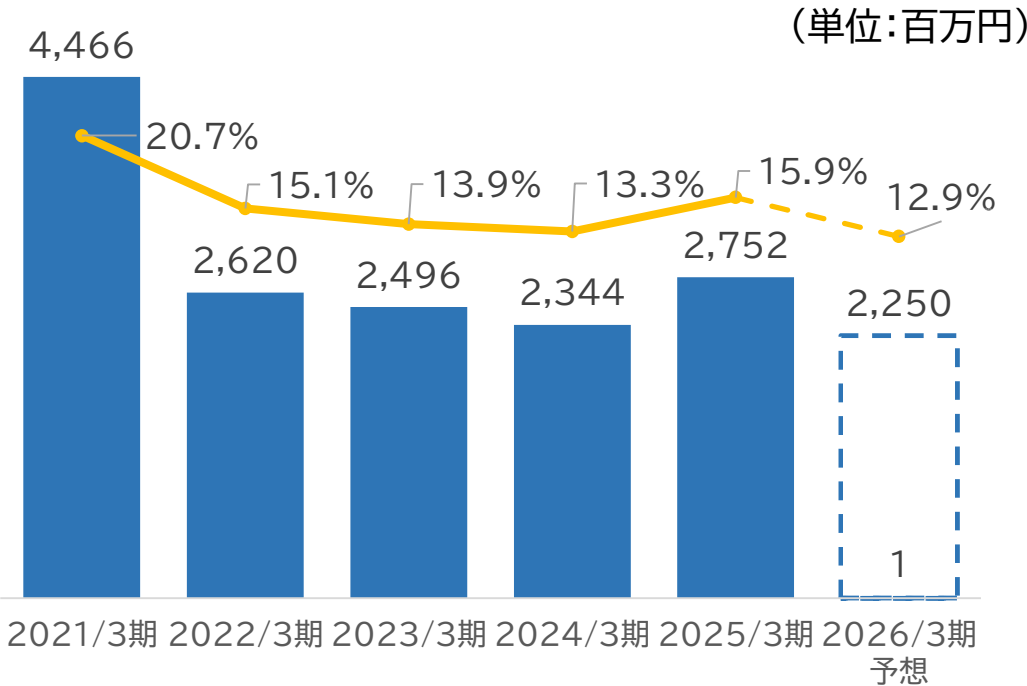
2025年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益・1株当たり配当金を算定しております。

業績推移（連結）

売上高



営業利益・営業利益率



受注残高

(単位:百万円)

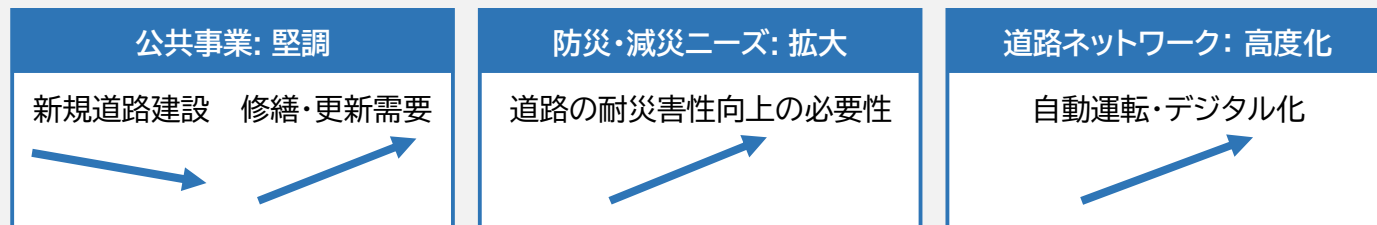
	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期
中間期末	18,669	18,938	23,205	20,090	20,306	21,204
期末	13,562	17,845	18,905	17,682	16,655	—

4. 中期経営計画 N-PLAN2026 進捗状況

中期経営計画の概要

N-PLAN2026 (FY2024-FY2026)

■中長期的な道路インフラ関連投資の動向



道路インフラ関連投資は中長期的にも堅調と予想するが、当社として中長期の市場環境のボラティリティ(≡社会環境の変化)への対応が必須

■基本方針

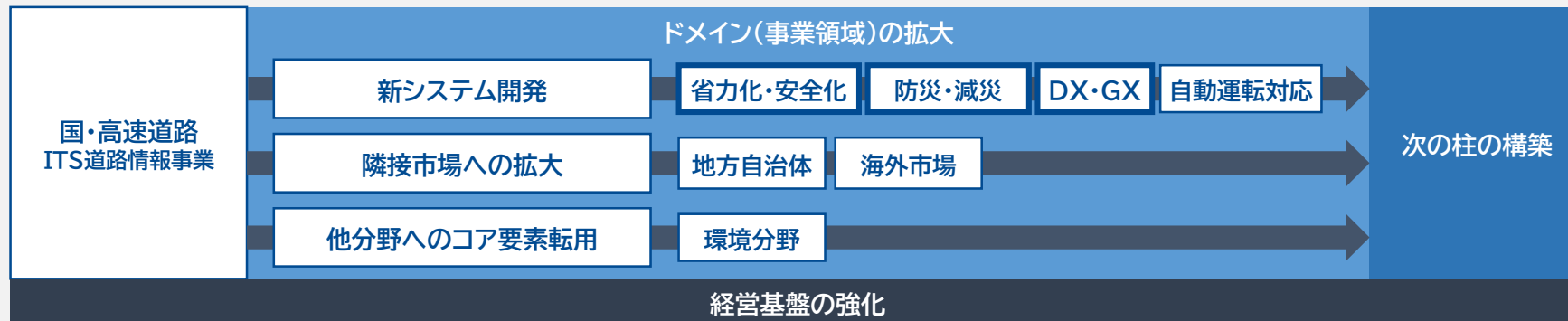
国や高速道路向けの既存事業では、新システム開発を強化し、将来の成長と収益を確保する

隣接する市場への事業拡大や、環境分野での技術応用の可能性を探る

M&Aも含めた積極的な投資を行う

2025年度内を目処に、優先順位の決定や市場調査を実施する

■重点施策



■経営目標

売上高
220億円 営業利益率
10%以上

新システム販売比率
10%以上

ROE
10%以上 配当性向
30%以上

PBR
1倍以上

■VISION

国内外の市場に挑戦し、ニーズを先取りした新システムで社会に貢献できる企業をめざします。

- ・ 情報板メーカーから道路交通安全を守る総合設備企業に変容します。
- ・ 新たなモビリティ形態に対応するインフラ整備を促進します。

活動報告 – 省力化・安全化

ミリ波レーダー対応LED信号機「ミリパ！」NETIS登録



株式会社インフォメックス松本

- 国土交通省の新技术情報提供システム(NETIS)に登録（登録番号:TH-250008-A）
- ミリ波レーダーによる先頭車両感知と無線同期機能で信号制御を自動化
- 交通渋滞緩和や省人化対策に貢献する新技术



NETIS登録番号: TH-250008-A

技術名称: 赤青点灯時間の自動調整式LED仮設信号機「ミリパ！」

対象機種: 「ミリパ！」(IGS225DM/DS3M)」

活動報告 – 環境分野

薄型太陽電池 福岡県 実証事業

- 福岡県の太陽電池等実証事業に採択され、カルコパイライト太陽電池の実証を12月から順次開始
- 国内初の試みとして、道路情報板・監視カメラに搭載し、オフグリッド化や災害時稼働の可能性を検証
- 次世代エネルギー活用による社会インフラの持続性向上を目指す

設置予定箇所



大牟田市
(道路情報板)



みやこ町
(道路情報板)



八女市
(道路監視カメラ)

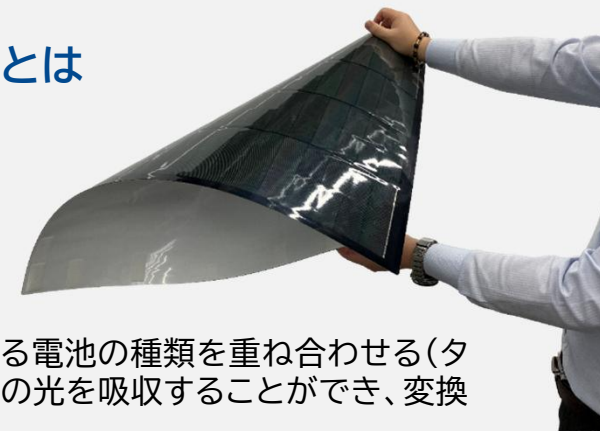
カルコパイライト太陽電池とは

既存の太陽電池に比べ…

- ①軽量でフレキシブル
- ②フレキシブル・高い柔軟性

将来的には…

ペロブスカイト太陽電池等、異なる電池の種類を重ね合わせる(タンデム化すること)で幅広い波長の光を吸収することができ、変換効率が向上



活動報告 – 混在交通での安全確保

電動キックボードの安全走行を促す「視覚誘導表示」の実証実験

- 多摩大学と共同で、電動キックボード利用者の安全走行を促す「視覚誘導表示」の実証実験を実施
- 情報表示装置と任意標識を用いた視覚的誘導の有効性を、視線計測データにより検証
- 自治体やシェアリング事業者との連携、さらには新興モビリティとの共存を見据え、技術開発の深化を目指す



活動報告 - 展示会

自治体総合フェア2025

- 地域に密着した防災・減災の実現をテーマに出展し、生成AIを活用した“対話型”防災ソリューションを中心に紹介

ハイウェイテクノフェア 2025

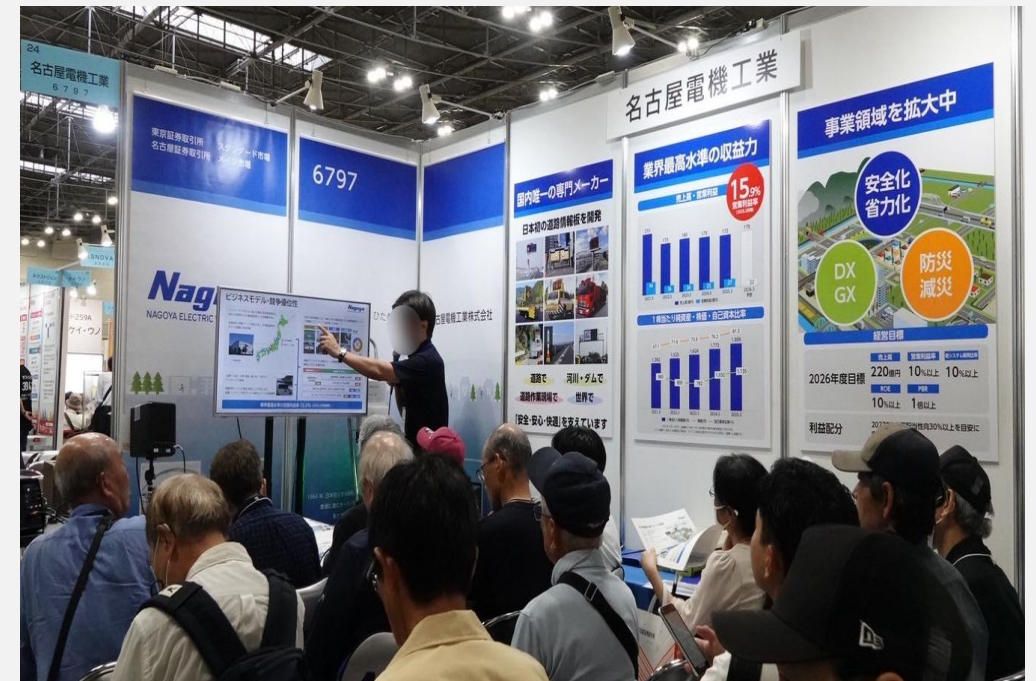
- 標識車向け危険走行検知システムや、通行止め装置「くろうず君」や防眩型LED警光灯「スモールフリックス」といった、現場の課題に直結する新製品・最新技術を紹介



活動報告 – IR活動

名証IR EXPO2025

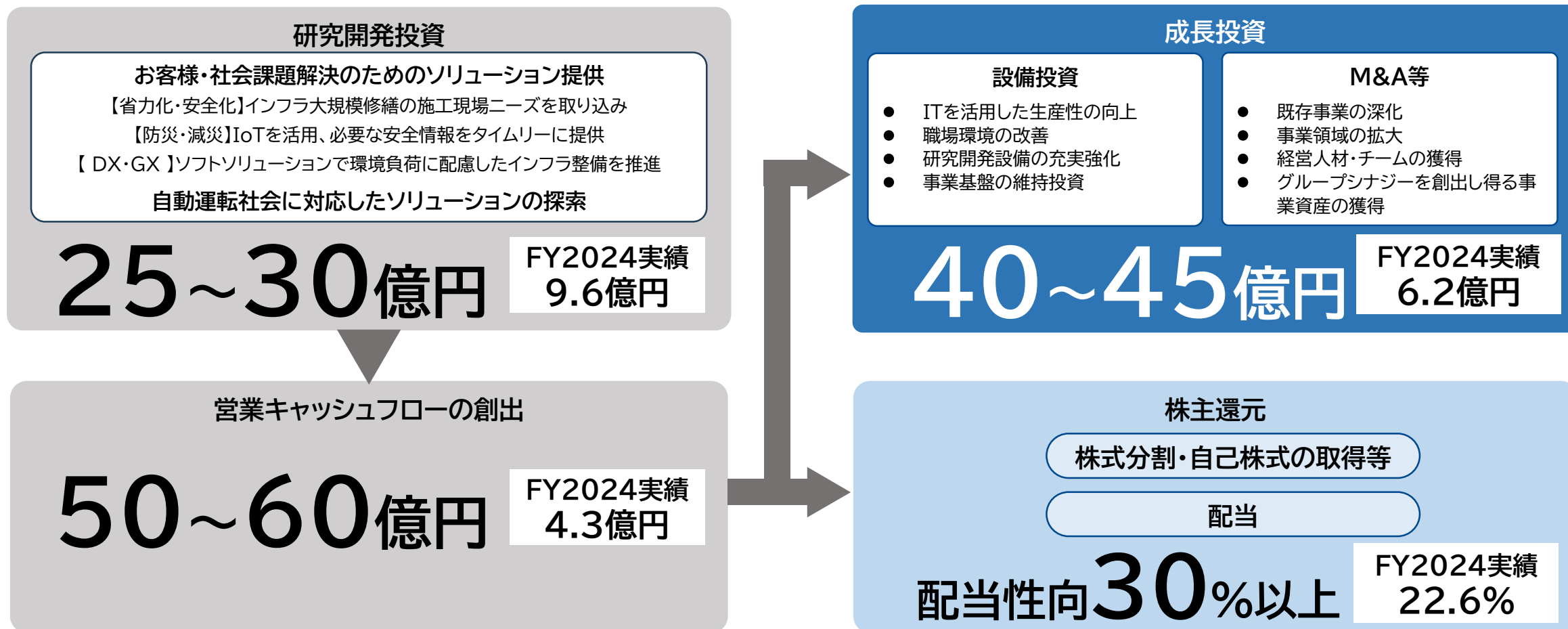
- 個人投資家への情報発信機会を拡大することを目的に出展
- 当社の事業内容や今後の方向性と魅力を発信し、認知拡大することが目的
- 今後も個人投資家の皆様に向けて取り組みや成長の姿を共有して参ります



中期経営計画の概要

N-PLAN2026 (FY2024-FY2026)

キャッシュアロケーション: 計画に変更なし



株主還元方針

配当方針

安定配当

配当性向目安

30%以上

1株あたり配当金

2025年3月期

42.5円

期末配当

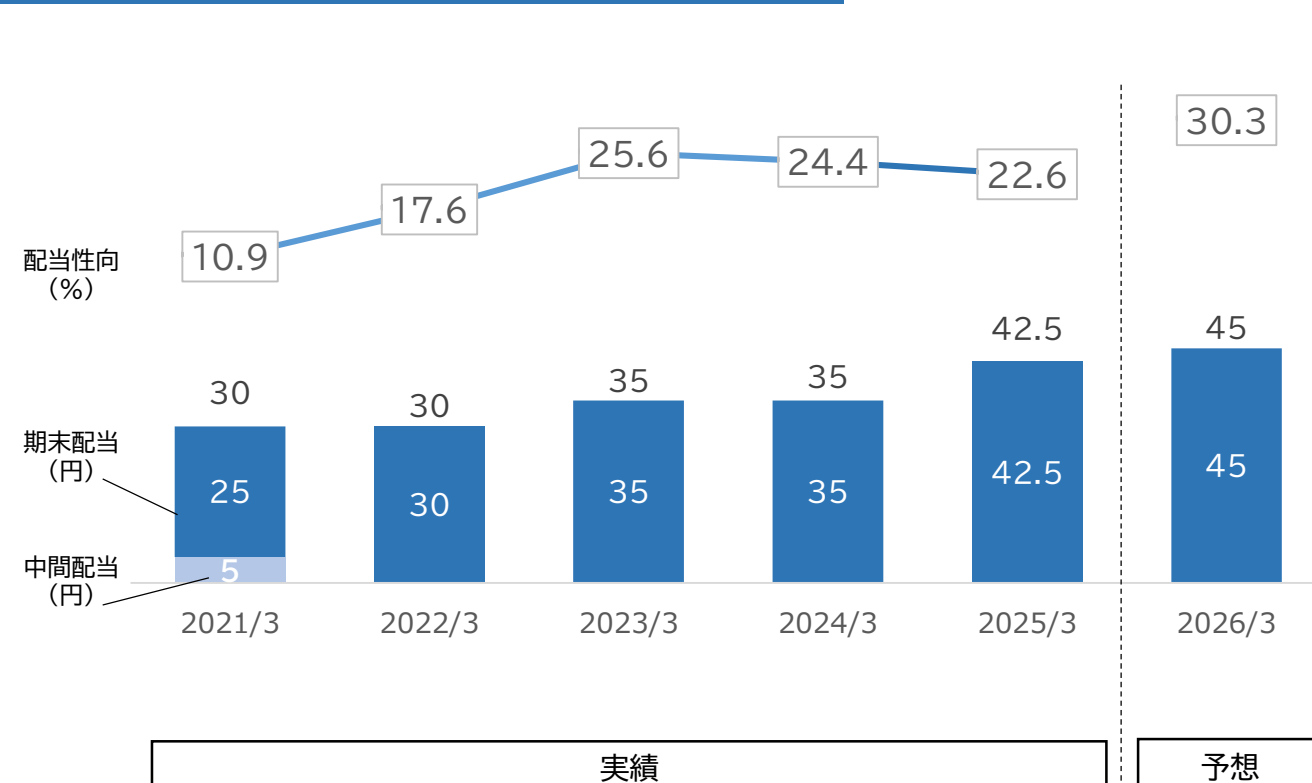
2026年3月期

45円

(予想)

期末配当

1株当たり配当金額と配当性向の推移



2025年4月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。グラフに記載の1株当たり配当金は、すべてこの株式分割が行われたものと仮定して換算した金額です。

5. APPENDIX

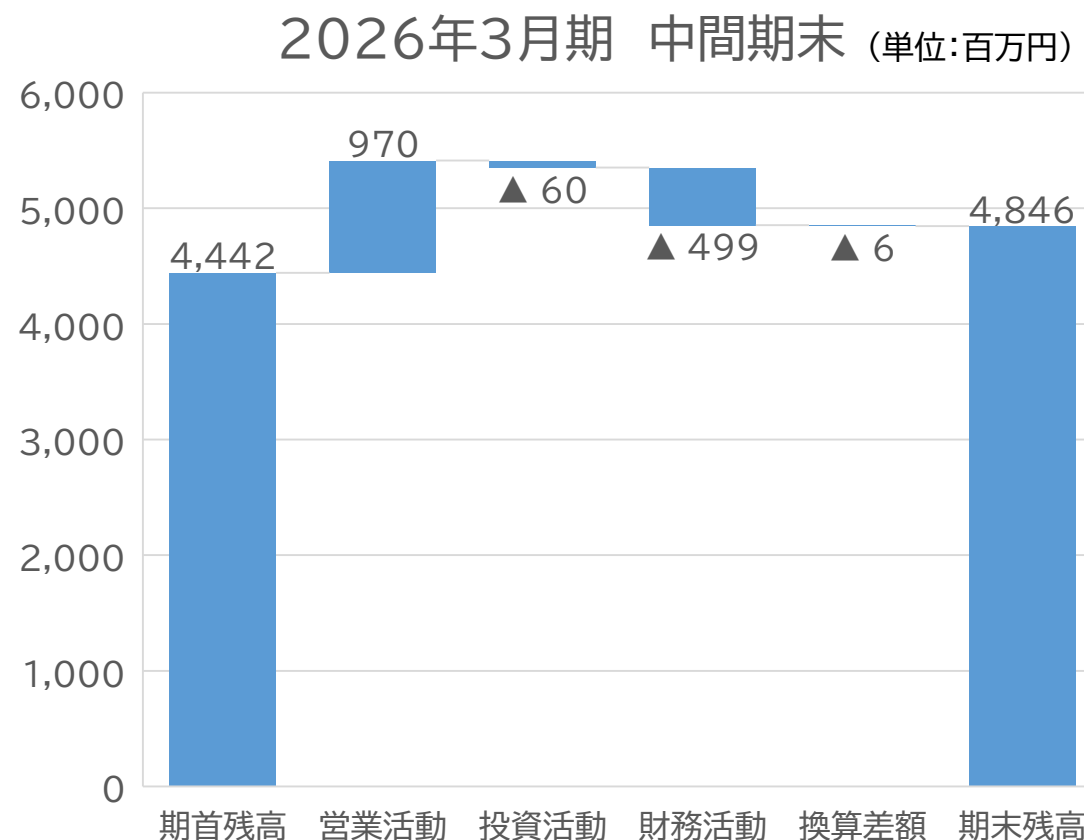
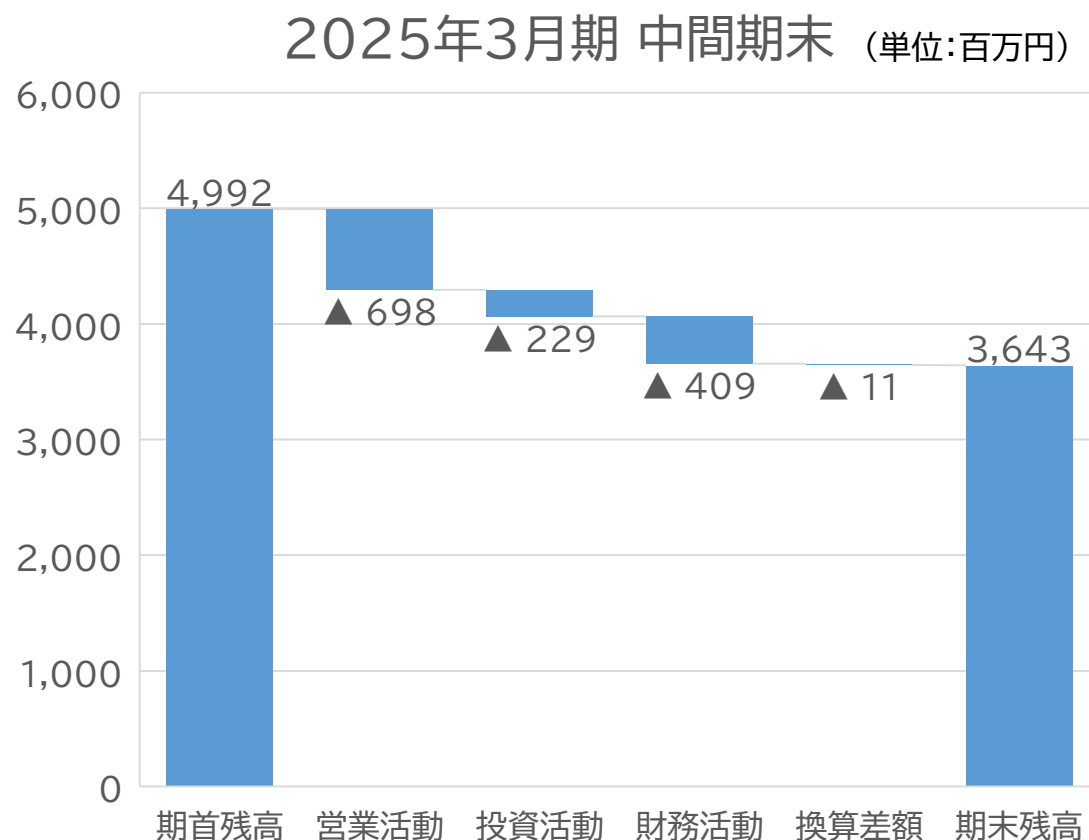
財務状況（連結）

（単位：百万円）

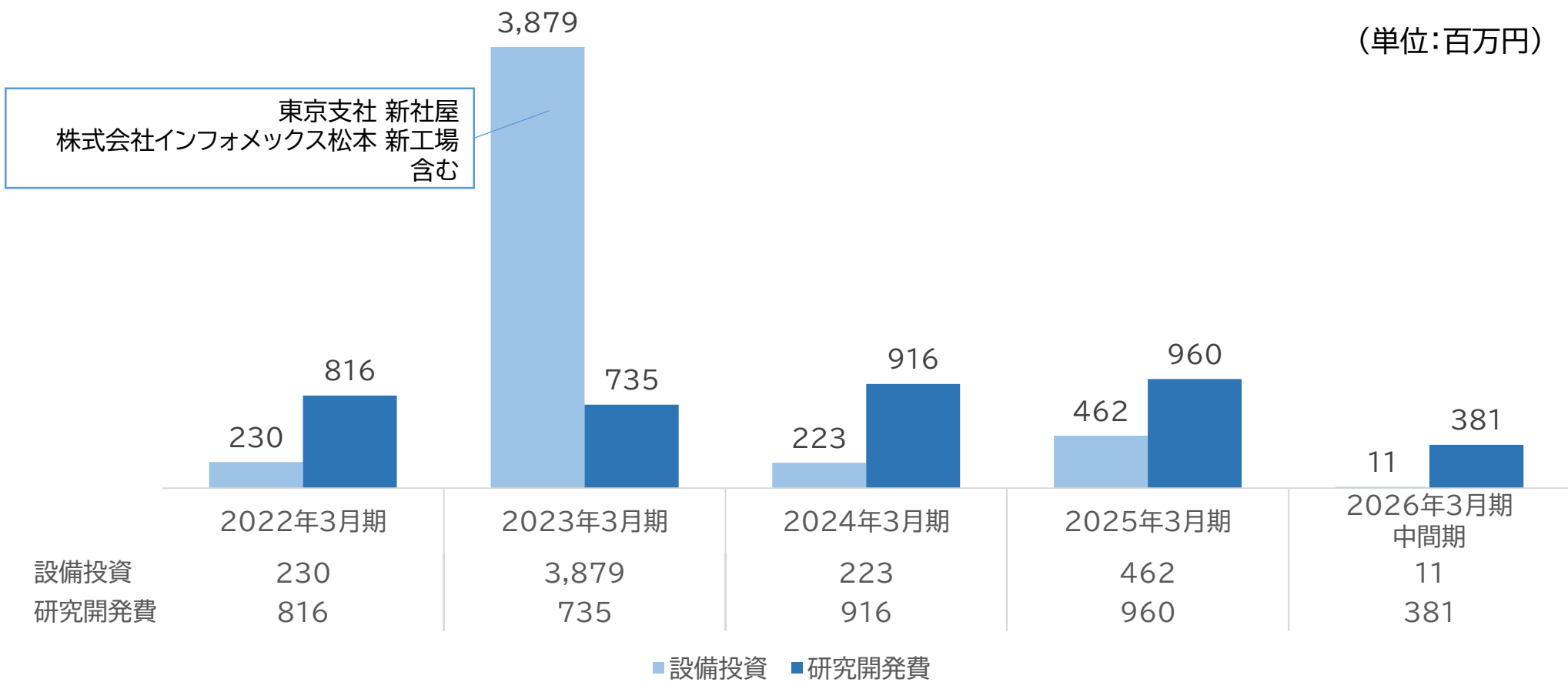
		2025/3期末	2026/3期末 中間期末	増減
資産の部	流動資産	19,146	18,346	△799
	固定資産	8,390	8,799	408
	有形固定資産	5,739	5,643	△96
	無形固定資産	110	106	△4
	投資その他の資産	2,540	3,049	508
	資産合計	27,537	27,146	△391
負債の部	流動負債	4,881	4,467	△414
	固定負債	256	399	142
	負債合計	5,137	4,866	△271
純資産の部	株主資本	21,737	21,486	△251
	資本金	1,184	1,184	0
	資本剰余金	1,150	1,507	357
	利益剰余金	19,807	19,529	△277
	自己株式	△404	△735	△331
	その他の包括利益累計額	661	794	132
	純資産合計	22,399	22,280	△119
負債純資産合計		27,537	27,146	△391

キャッシュフロー（連結）

- 当連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は404百万円増加し、4,846百万円となった



設備投資・研究開発費推移（連結）





本資料お取扱い上のご注意

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。

また本資料に含まれる将来の計画値、予測値等は説明会時点の入手できる情報に基づいて判断したものであり、不確定要素を含んでおります。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。また本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。